

TAKOU かわら版-179号

多度津高等学校

〒764-0011 香川県仲多度郡多度津町栄町 1-1-82

Tel (0877) 33-2131 Fax (0877) 33-2132

HP : <https://www.kagawa-edu.jp/takouh01/> e-mail: takouh01@kagawa-edu.jp

上記のホームページアドレス・QRコードから最新情報をご覧になれます。

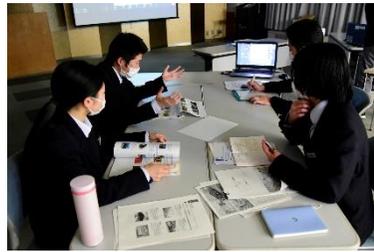
TAKOU 100



多度津町の魅力向上に意見出し合う

1月28日(金)、多度津町役場でたどつミライ会議が開かれ、写真部6名が参加しました。この会議はオンラインで実施され、多度津町の魅力を引き出すために意見を出し合いました。会議では町内外のつながりの強化や関係人口を創出する仕組みが必要だと考えられ、コミュニティ通貨「まちのコイン」の話題が上がりました。多度津のまちのコインは「どつつ」と名付けられ、枯葉の掃除や窓拭きなどを行うことで貯まっていきます。貯まったまちのコインを払うことで廃棄予定の商品をもらったり、1時間若旦那と話をしたりすることができるそうです。地域の「うれしい経験」のつながりを増やす新しい取り組みが進んでいます。

「いろいろな案が出てすごいと思いました。町のためにここまで考えてくれる人がいるんだなと感心しました。」(2ケ 多田さん)



横井邸、アメリカへ移築するプロジェクト進む

建築科が2年前から取り組んでいる、横井邸をアメリカに移築するプロジェクト。その報告会が1月29日(土)、丸亀市の交流センターマルタスで行われました。司会進行や報告はすべて生徒が行い、これまで取り組んだ内容やこれからの予定などを報告し、新たなスタートを切りました。横井邸は丸亀市今津町にある築300年ほどの古民家です。2021年末に建物が完成し、現在は庭の整備に取り掛かっています。順調にいけば2023年3月にアメリカ(カリフォルニア州)のハンティントン財団庭園に到着する予定です。また、これら建築科が行っている地域と連携したさまざまな取り組みが認められ、12月22日(水)、本校硯ヶ丘記念館で行われた授与式において、建築科が中国四国農政局「ディスカバー農村漁村(むら)の宝」の奨励賞を受賞しました。この賞は、農林水産省が地域の活性化に取り組んでいる優良な事例を選定して与えられます。

「横井邸の報告会にパネルディスカッションをして参加して見て、古民家の良さを改めて知ることができました。建築科の活動を写真部として報告しましたが、今後も建築科と写真部の両方の活動を通して、より詳しく学んでいきたいです。」(2ケ 藤原さん)



ロボットアメリカンフットボール香川県大会開催!

2月11日(金)、ロボットアメリカンフットボール香川県大会が本校体育館で開催されました。本校からは総当たり戦にAチーム(3テ篠原さん、高橋さん、合田さん、2テ香川浩さん、1キ掛礪さん)、トーナメント戦にBチーム(2テ八木さん、三好さん、香川友さん、紙さん、1テ詫間さん)が出場しました。Aチームは高松工芸高校に10-10、観音寺総合高校に6-13、坂出工業高校に6-5で準優勝、Bチームは坂出工業高校に8-6、観音寺総合高校に6-4で優勝を果たしました。感染対策のため大声での応援はできませんでしたが、絶対に優勝すると気合を入れて挑んだ大会。見事な成績を収めました。

「練習はしんどかったけど、先輩がいろんなアドバイスをくれたので頑張れました。最終的に優勝できてよかったです。」(1テ 詫間さん)

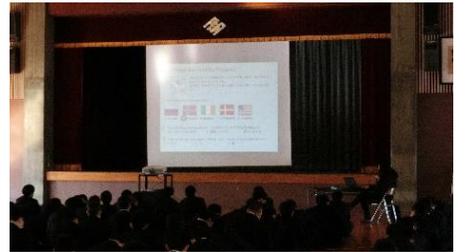


LHRで新たな視野を広める

1月28日(金)、1年生が国際理解、2年生が人権・同和教育をテーマにロング・ホームルームを行いました。国際理解では、ALTのマリア先生が世界各国に伝わる童話を英語で説明し、それを聞き取ってクイズに答えるという活動を行いました。難しいと感じる生徒もいましたが、流れる映像やクイズ形式の授業を楽しみながら異文化を学ぶことができました。2年生の授業では、結婚差別をテーマに学習しました。生まれや病気といった、本人にはどうしようもないような理由で結婚を反対することの不条理さを確認し、将来実際に自分がその立場になったらどう行動するかについて考えました。「自分は差別をしない」という意見も多く出ましたが、「何が正しくて何が間違っているか、まだ整理がついていない」「差別がなくなる日は本当に来るのだろうか」などといった疑問をもつ生徒もいました。

2月4日(金)には1年生が人権・同和教育を行い、ハンセン病患者への差別について学習しました。香川県にも国立療養所があることを知り、身近に感じて真剣に学習することができました。また、ビデオを見ながらハンセン病に対する正しい理解を深めることができました。

「2人が結婚したいと思っているなら、病気や出身で差別するのはその人自身に関係ないのでダメだと思いました。」(2テ 三谷さん)



海の安全祈念日迎える

2月10日(木)、海の安全祈念日を迎えました。海の安全祈念日は、2001年2月10日8時45分、愛媛県立宇和島水産高校の実習船「えひめ丸」がアメリカ・ハワイ州のオアフ島沖でアメリカ軍の原子力潜水艦に衝突されて沈没したことを追悼し、実習航海の安全を祈念するために制定されています。現在でも、全国の水産系高校で黙祷が捧げられています。本校の実習船「翔洋丸」は2月10日現在、漁場で操業実習を行っています。生徒たちは見たことない太平洋の大きな魚を見て大興奮で、実習を楽しんでいるということです。

「事故があったことを教訓にして、今後の実習や遠洋航海に臨んでいきたいです。2年生も無事に帰ってきてくれたらと思います。」(1オ 森さん)



課題研究発表会で学科の成果披露

2月9日(水)に土木科、2月15日(火)に機械科の課題研究発表会が実施されました。土木科は3年生が自分たちが活動した班に分かれて、「ものづくり班の活動記録」「コンクリート班の活動成果について」「測量班の活動内容」「カキ殻を細骨材として使用したコンクリートの関する研究」「トラス橋は地震の揺れに強いぞ」の発表を行いました。機械科は「ネジアート」「海上自転車の製作」「風力推進船の研究」「3Dプリンター&ホバークラフト」「ゼロハンカーの製作」の発表を行いました。どちらの発表にも各科の2年生が参加し、来年度研究したい分野を考えながら聞きました。

「話を聞いてみて、学んだことや今後改善したい課題が見つかりました。これから自分が研究するとき、聞いた内容をふまえて頑張っていきたいです。」(2ト 安治川さん)

「前に立って発表すると緊張しましたが、2年生がしっかり聞いてくれました。1年間頑張ってきて、とてもやりがいがありました。2年生にも真面目に取り組んだからこそ味わえる達成感を感じてほしいです。」(3キ 高原さん)



～ファイバーレーザー加工機導入 機械科～

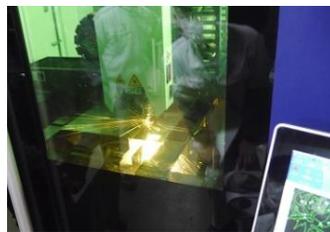
小さいころ虫眼鏡で太陽光を集めて黒く塗った紙を焼いて穴をあけた経験はないだろうか？レーザー加工機とはレーザー光と呼ばれるエネルギーの高い光をレンズで集めてさらにエネルギーを高め、物質を焼き切るレーザーヘッドを備え、それをプログラムに合わせて平面上で正確に動かす数値制御装置を組み合わせた工作機械である。

昨年12月に本校機械科にこの装置が導入された。鋼・アルミ・ステンレスの厚さ10mmくらいの材料なら精度よく短時間で加工することができる。そのすごさは、金属を削る切削加工では数十分かかっていたものが、ほんの数秒で加工できる。もちろん製品の用途によっては切削加工でなければならないものもあるが、溶接実習での部材加工や技術部でのロボットのパーツ製作など幅広い活用に期待している。

これからの技術者はベースとして持つべき基本技術と日々進歩していく最新の技術。どちらにも対応できるように柔軟さとどん欲さが必要である。身につけた知識や技術は常にアップデートする気持ちを忘れずに。



(ステンレスの作品 薔薇)



(加工中の様子)

部活動栄光の記録

バスケットボール部

1月16日(日)、22日(土)、新チームによる最初の大会となる「令和3年度香川県高等学校新人バスケットボール大会」が各会場で行われ、多度津66-47香川高専高松、多度津70-67高松商業、多度津52-90尽誠学園で準優勝を果たしました。

ウエイトリフティング部

1月23日(日)、本校体育館で「第22回四国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会兼全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会予選会代替香川県大会」が行われました。女子では、2キ齋藤さんが49kg級、1キ平川さんが55kg級で優勝。男子では2ケ橋田さんが61kg、2ケ葛原さんが73kg級、2キ寺嶋さんが89kg級で優勝しました。橋田さんと葛原さんは3月の全国大会に出場します。

リレー随想

「手間をかけること」

芸術科 岡直樹先生

皆さんは「手間」という言葉にどのような印象を持っていますか。「手間どる」「手間のかかる」のようなマイナスの言葉として用いることが多いのではないのでしょうか。または「手間暇かけて」「手間を惜しまず」といった、時間や労力をかけて何かをなす、といった意味で使う場面もあるでしょう。

私たちの生活はどんどん便利化されています。例えば、遠くにいる相手にわざわざ手紙を書く必要はなく、ソファに寝そべり、指一本でLINEを送れば事足ります。仮に手紙を書いたとしても、水を汲み、墨を磨り、紙を選び、筆で認める、といったところまで「手間」をかける人はごく僅かだと思います。当然、生活が高速度化することはとても恵まれたことで、生み出した時間を有意義に活用することができます。しかしながら、あえて時間をかけて手紙を書いたり仕事にこだわりをもったりと、相手のために労を費やす行いには、えも言われぬ説得力が宿る、と私は思っています。

私や皆さんが生まれるずっと前、何事にも「手間」がかかって当然でした。それを不便ととるか、必要なひと「手間」ととるかはその状況によりますが、無用な「手間」は省いても、大切な何かに「手間」をかける習慣は忘れたくないものです。

《主な行事》

3月

- 1日(火)卒業式・修了式
- 3日(木)出前授業(2キ造船コース)
- 8日(火)一般選抜(学力検査)
- 9日(水)一般選抜(面接)
- 15日(火)スタディーサポート(2年)(~17日)
- 15日(火)、16日(水)クラスマッチ
- 16日(水)教科書販売
- 17日(木)リモート集会、教室移動
- 18日(金)終業式、遠洋航海帰港式
- 27日(日)ボイラ実技講習会(~29日)

4月

- 6日(水)離任式・始業式
- 7日(木)入学式
- 8日(金)着任式・対面式・実力テスト
- 10日(日)ミニ水族館
- 11日(月)実力テスト
- 12日(火)県下一斉テスト
- 13日(水)~19日(火)面接週間
- 28日(木)第1回書取テスト

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。3年間の経験をこれからは生かして、活躍してくれることを期待しています。
生徒会



